

2013年6月24日
中央労働金庫

ATM利用による社会貢献活動

ピンクリボン運動支援として累計 2,712 万円を寄付

日本人女性の15人に1人が、生涯に一度は乳がんを患うといわれています※1

中央労働金庫(東京都千代田区)は、ATMの利用回数に応じて、公益財団法人日本対がん協会(東京都千代田)「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付する取組みを2011年9月から行っています。取組み開始から本年5月までの寄付金額の累計は、約2,712万円となりました。

本取組みは、全国の労金ATM・セブン銀行ATMで中央労金のカードを利用すると、お支払・お預入れ1回につき1円を中央労金が負担し、公益財団法人日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付するものです。寄付金は、同協会により、マンモグラフィなどの乳がん検診機器の整備、無料がん相談などの患者支援、啓発活動などに役立てられています。

中央労金は、誰でも気軽に参加できる「ATM利用による社会貢献活動」を通じて、ピンクリボン運動支援を推進してまいります。

※1 出典:2012年度「日本対がん協会」案内パンフレットより

※ピンクリボンロゴマーク



※中央労金全店 150 店舗でキャンペーンを実施



本件に関わるお問い合わせ先

中央労働金庫 総合企画部(公務・広報)

担当:山口・小林

TEL: 03-3293-1620